

様式第 1 - 1 号

記載例: 交流事業イ（イベント出展型）／貸切バス型

令和 5 年 10 月 8 日

広島広域都市圏協議会会長

(団体又は代表者の住所) 〒128-0023

広島県三次市東酒屋町〇〇番地

(団体名) △△商店街

(代表者職名・氏名) 代表 □□ □□

(担当者氏名) ●● ●●

(連絡先) 電話: 0824-◆◆-1234

FAX: 0824-◆◆-1235

メール: △△@outlook.com

広島広域都市圏交流活動促進事業補助金交付事前協議書（交流事業用）

広島広域都市圏交流活動促進事業補助金の交付を受けたいので、以下のとおり事前協議します。

活動日	令和 5 年 10 月 28 日				利用予定の 公共交通又は貸切バス		別紙のとおり。
活動参加者数	12 名	公共交通又は 貸切バス 利用者数	往路 10 名	復路 10 名	補助金交付 申請予定額	100,000 円	
申請区分	☐ 交流事業ア（団体交流型）				「貸切バス型」は往復ともに 10 名以上が利用することが条件です。		
	☐ 交流する団体の名称（所在する市町名）						
	☐ 交流する場所の名称（所在する市町名）				☒	☐	
	☐ 交流内容				(2) 団体の運営に関する規程（規約、会則、定款等）を設けている	☒	☐
	☒ 交流事業イ（イベント出展型）				(3) 団体の運営に関する規程で、地域の維持や課題解決、活性化等につながる地域活動を行っていることが確認できる	☒	☐
	☐ イベントの名称（開催される市町名） 横川ソムニナイト（広島市西区）						

- ※ 上記申請予定額を上回る額で申請を受け付けることはできませんので御注意ください。
- ※ 申請団体の運営に関する規程（規約、会則、定款等）を御提出ください。
- ※ 交流事業ア（団体交流型）の場合は、交流する団体の運営に関する規程も御提出ください。

＜ 市町記入欄 ＞

受付日: 月 日 事務局確認日: 月 日 回答日: 月 日 回答市町:

☐ 補
 願い
 補

市町が事前協議の結果を記入する箇所ですので、申請団体は記入不要です。

申請をお
 定額を下回

- ※ 額で交付決定となる場合があります。
- ☐ 申請予定額が本事業の予算残額を超過するため、補助金の交付を受けられません。
- ☐ 活動内容が補助対象と認められないため、補助金の交付を受けられません。
- ☐ 貴団体が対象団体と認められないため、補助金の交付を受けられません。
- ☐ 交流する団体が対象団体と認められないため、補助金の交付を受けられません。
- ☐ () ため、補助金の交付を受けられません。

様式第1-1号 別紙

【公共交通等利用予定】

「公共交通型」の場合は、集合地点と目的地の区間のうち、3名以上で公共交通を利用予定の区間を記入してください。
「貸切バス型」の場合は、10名以上で貸切バスを利用予定の区間を記入してください。

小児運賃、障害者割など

※事前協議の申請予定額を超えて補助金を交付する事はできないため、
往復割や団体割など、割引後の利用額が不明確な場合は通常料金を記載してください。

公共交通等の種類※	利用区間	①単価 (貸切バスは借上料)	②利用 者数	利用額①×② (貸切バスは①を記入)	割引の種類 該当の場合のみ記入
貸切バス	〇〇小学校前 ⇒ 横川駅前	120,000 円	10 名	120,000 円	
	⇒	円	名	円	
		円	名	円	
		円	名	円	
	⇒	円	名	円	
	⇒	円	名	円	
	⇒			円	
	⇒			円	

「貸切バス型」は往復ともに
10名以上が利用することが
条件です。

「貸切バス型」は貸切バスの借上料が
確認できる見積書等を併せて提出し
てください。

※公共交通等の種類

JR、路線バス、高速バス、デマンドバス、乗合タクシー、フェリー、高速船、
アストラムライン、路面電車、貸切バスなど（乗用タクシー、新幹線は除く）

③合計額

120,000 円

③合計額または補助上限額のいずれか低い方を記入してください。
(別の補助金等を受給した（する予定の）場合は差し引いた額を記入)

補助交付申請予定額

100,000 円

【貸切バスを利用する場合】： 交流事業で貸切バスを10名で利用する場合、補助上限額は100,000円となります。

バス運行会社名	〇〇交通株式会社	一般乗合旅客 自動車運送事業	許可あり なし	一般貸切旅客 自動車運送事業	許可あり なし
---------	----------	-------------------	---------	-------------------	---------

貸切バスを利用する理由を記入してください。

地域内の路線バスで適した時間に出発する便がなく、また、活動参加者に高齢者や子どもが多いことから、公共交通を乗り継いで目的地まで行くことが困難なため。

【補助金

本補助金を
受給します

貸切バスを運行する事業者名を記入し、一般乗合旅客自動車運送事業及び一般貸切旅客自動車運送事業の許可の有無を該当する方に○をしてください（両方の許可を受けている事業者が運行する貸切バスを利用する場合のみが補助対象となります。）。

※「バス運行会社名」欄について、旅行業者に貸切バスを手配してもらっている場合でも、旅行業者名を記入するのではなく、貸切バスを運行する事業者名を記入してください。

(1) 国・県・広島広域都市圏内の市町	補助金等の名称
(2) 国・県・広島広域都市圏内の市町が資本金、基本金その他これらに準ずるものを出資した法人等	受給額（受給予定額）： 円
	☒ いいえ

【団体の概要】

団体概要を確認するため、以下を記入してください。町内会や地区社協、子ども会等のように地縁に基づいて設立され、活動範囲が明確な団体（別紙「Q&A」の対象団体一覧表で「○」となっている団体等）は記入不要です。

団体名	
設立時期	(昭和 ・ 平成 ・ 令和) 年 月
活動状況	活動範囲 (例. 広島市、広島市中区、広島市中区国泰寺町、広島市中区国泰寺町1丁目など)
	団体の構成員数 人 うち、活動範囲に居住する構成員数 人
活動目的	

様式第3－1号（本人払用）

令和5年11月1日

広島広域都市圏協議会会長

（団体の所在地又は代表者の住所）

〒728-0023

広島県三次市東酒屋町〇〇番地

（団体名）△△商店街

（代表者職名・氏名）代表 □□ □□

（担当者）●● ●●

（連絡先）電話：0824-◆◆-1234

FAX：0824-◆◆-1235

メール：△△@outlook.com

広島広域都市圏交流活動促進事業補助金交付申請書兼請求書

別紙のとおり、活動を実施しました。ついては広島広域都市圏交流活動促進事業補助金の交付を受けたいので、以下のとおり申請（請求）します。なお、確認事項に記載の内容について同意します。

交付申請額：**100,000** 円

以下の口座に振り込んでください。

振 込 先	金融機関 コード				店舗 コード			記号 (ゆうちょの場合)			金 融 機 関 名				店 舗 名	
	1	2	3	4	5	6	7				□□□	銀行 組合	金庫 農協	□□支	店 所	
	預 貯 金 口 座 の 種 別							口 座 番 号								
	普通 ・ 当 座							8 9 1 0 1 1 1								
	口座名義人 (か)		サ ン カ ク シ ヨ ウ テ ン ガ イ ダ イ ヒ ヨ ウ シ カ ク シ													

※ 「①団体の代表者名義」または「②団体名が確認できるその他の名義」の口座に振込を行います
（②の口座に振込を希望の場合は、委任払用の様式（様式第3－2号）を使用してください。）。

【確認事項】

- ① 補助金交付の審査のため、広島広域都市圏協議会の担当職員が交流した団体等に、申請内容等について照会することに同意します。
- ② 申請内容に影響のない軽微な修正や明らかな誤字脱字の訂正を広島広域都市圏協議会の担当職員が行うことを承諾します。
- ③ 広島広域都市圏交流活動促進事業費補助金交付要綱の規程による会長の決定又は指示に従わなかったためにその交付を受けられなかった場合は、そのことについて争いしません。
- ④ 表面に記載された受取口座への振込手続後、記載間違い等の事由によりその振込みが完了せず、かつ、申請後30日以内に、連絡・確認ができない場合には、当該申請が取り下げられたものとみなします。
- ⑤ 偽りその他不正の手段により、及び交付条件に違反して補助金を受給していることが判明した場合には、補助金を返還することを誓約します。

様式第4－1号

広島広域都市圏交流活動促進事業 活動実施報告書（交流事業用）

団 体 名	△△商店街			
活 動 日	令和 5 年 10 月 28 日			
活動参加者数	12 名			
公共交通又は貸切バス 利用者数	往路	10 名	復路	10 名
利用した 公共交通又は貸切バス	別紙のとおり。			
交流した団体の名称 又は 出展したイベントの名称	横川ゾンビナイト			
目的地の名称（市町名）	横川駅周辺（広島市西区）			
活 動 内 容 (どのような活動をしたかなるべく具体的に記入してください。)	地元の特産品である▲▲を用いてゾンビメニューを2つ考案し、ゾンビ屋台村に出展。雰囲気作りが徹底しており、出展者も仮装して参加した。ステージでのパフォーマンスや各所でのゾンビイベントも相まって大変な賑わいとなり、物販は■●円の売上げとなった。			
活 動 効 果 (上記活動を行い、団体にどのような効果があつたかなるべく具体的に記入してください。)	様々な団体が連携し、一体となって作り上げている点が、大変参考になった。効果的な演出や広報についても勉強になったため、当商店街における今後の各種イベントで活かしていきたい。			
本補助事業に関する御意見 (本補助事業について、良かった点や改善すべき点がありましたら記入をお願いします。)	(自由記入)			

活動効果は、当該活動を行ったことで、（参加者個人ではなく）団体にどのような効果があつたかを記入してください。

※ 以下の書類を併せて御提出ください。

- (1) 事業実施が確認できる写真
- (2) 活動参加者の名簿
- (3) 「交通費の支払を証明する資料」または「利用区間の運賃が確認できる資料及び公共交通の利用が確認できる写真」

< 交流事業ア（団体交流型）の場合のみ >

- (4) 交流活動実施証明書（様式第〇号）

< 交流事業イ（イベント出展型）の場合のみ >

- (5) 事業実施が確認できる書類（イベントのチラシ、出展者決定通知書、会場レイアウト図等）

様式第4-1号 別紙

【公共交通等利用報告】

小児運賃、障害者割、往復割、団体割など

「公共交通型」の場合は、集合地点と目的地の区間のうち、3名以上で公共交通を利用した区間を記入してください。
「貸切バス型」の場合は、10名以上で貸切バスを利用した区間を記入してください。

公共交通等の種類※	利用区間	①単価 (貸切バスは借上料)	②利用 者数	利用額①×② (貸切バスは①を記入)	割引の種類 該当の場合のみ記入
貸切バス	〇〇小学校前 ⇒ 横川駅前	120,000 円	10 名	120,000 円	
	⇒	円	名	円	
	⇒		名	円	
	⇒		名	円	
	⇒	円	名	円	
	⇒	円	名	円	
	⇒	円	名	円	
	⇒	円	名	円	

「貸切バス型」は往復ともに
10 名以上が利用することが
条件です。

※公共交通等の種類

JR、路線バス、高速バス、デマンドバス、乗合タクシー、フェリー、高速船、アストラムライン、路面電車、貸切バスなど（乗用タクシー、新幹線は除く）

③合計額または事前協議の補助金交付予定額のいずれか低い方を記入してください。
(別の補助金等を受給した（する予定の）場合は差し引いた額を記入)

③合計額	120,000 円
補助金交付申請額	100,000 円

交流事業で貸切バスを10名で利用する場合、補助上限額は100,000円となります。

上記のとおり支払ったことを証明します。

年 月 日

「貸切バス型」は、支払を証明する資料として、必ず
領収書を提出してください。
「貸切バス型」の場合は、団体代表者の署名は不要です。

代表者 職・氏名

※ 支払を証明する書類（利用者数分の領収書や切符の写真など）が提出できる場合は、署名不要です。

※ 貸切バス型の場合は、貸切バスの借上げに係る領収書（写しでも可）を必ず提出してください。

【補助金等の受給確認】

本補助金以外で、他の団体（国や県、広島広域都市圏内の市町など）から公共交通の利用に要する経費の補助等を受けた又は受ける予定であり、当該補助等が他の補助等との重複申請を認めていない場合は併給不可とします。ついては、その他の補助金等の受給状況を確認するため、以下の当てはまる方に○をしてください。

上記、公共交通等の利用に係る経費について、以下の (1)または(2)から補助金等を受給した（する予定である）。 (1) 国・県・広島広域都市圏内の市町 (2) 国・県・広島広域都市圏内の市町が資本金、基本金その他これらに準ずるものを出資した法人等	☐ はい（カッコ内に補助金等の名称等を記入してください。） 補助金等の名称： 受給額（受給予定額）： 円 ☒ いいえ
--	---

様式第 6 号

活動参加者名簿（実績報告）

参加者氏名		公共交通又は 貸切バスの利用 (利用：○ 利用なし：×)	
		往路	復路
1	広島 太郎	○	○
2	呉 花子	○	○
3	竹原 一郎	○	○
4	三原 次郎	○	○
5	大竹 三郎	○	○
6	岩国 四郎	○	○
7	上関 五郎	○	○
8	浜田 六郎	○	○
9	美郷 七郎	○	○
10	邑南 八郎	○	○
11	府中 九郎	×	×
12	和木 十郎	×	×
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			